

相談者名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
A 農事組合法人	構成員 4 戸 (5名)	群馬県邑楽郡明和町	ナシ産地の復興を目指す農業者グループによる法人化	専門家支援 1 回

### 相談内容・現状課題

#### ■相談内容

明和町は、梨の栽培が盛んに行われてきたが、高齢化や後継者不足により栽培面積が減少してきた。相談者は町の産地再生を図るため法人の設立を目指し、同法人への農地の集積・集約化による面積拡大、梨のブランド化等について相談。

#### ■現状課題等

- 明和町の梨栽培の状況は、農家の高齢化、後継者不足等により、栽培面積は最盛期の約1/4(昭和40年代の40ha→10ha)に減少。
- 構成員の栽培技術の高度平準化を図り、高品質・安定生産による単価アップを目指すために法人化が必要。
- 危機感を抱いた梨農家は、平成30年3月に明和町梨産地法人化協議会を設立。(協議会の設立に当たり、梨農家の他、町役場、普及センター及びJAが連携する体制を整備。)
- 法人化後は、直売所の設置や就農希望者の受け皿を検討。
- 法人化するための具体的な手続き、新規就農者の受け入れ等が不明確であるため、これらに対する支援を行う専門家が必要。

### 群馬県農業経営相談所の支援体勢・改善提案(問題解決方法)

#### ■支援内容

##### 1. 支援チームの編成

中小企業診断士、普及指導員、県 計4名

##### 2. 支援内容

###### (1) 中小企業診断士を中心とした法人化支援

- 中小企業診断士による、法人化に向けたスケジュール・法人化後の将来像について、具体的な今後の支援方針等、中期的な経営計画の検討。

###### (2) 法人登記支援

- JAとともに定款内容の提案と確認の支援。

###### (3) 普及指導員による栽培技術の高度平準化に向けた支援

- 普及指導員により梨の樹体ジョイント仕立て栽培の導入を支援し、作業の効率化と早期成園化を狙った新技術を導入。

###### (4) PDCAサイクルでの伴走支援

- 将来像を具体的に進めていくため、今後も引き続き専門家による支援を継続。



### 支援の成果・その後の状況

#### ■支援の成果・その後の状況

ナシ産地の復興を目指し、平成31年2月28日、農家4戸5名により農事組合法人Aを設立。中小企業診断士を中心とした支援チームを中心に、今後は、直売所の整備を支援し、新規参入希望者の受け皿としての取組を継続支援する。



#### ■コーディネーター所感

相談者のナシ産地の復興に向けた想いを実現すべく、法人化や将来的な経営の安定に向けた助言等を行った。農業従事者の高齢化と面積の減少が進むなか、このような新規参入者の独立支援まで行う地域での取組を、継続的に支援していきたい。また、同様の課題を抱える他の産地へのモデル事例として紹介し、横展開を図りたい。